

# 令和7年度第8回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和7年8月26日（火）13：30～13：48
- 2 場 所 教育委員会会議室 ハーバーセンター4階
- 3 出席者 福本教育長  
正司委員 今井委員 山下委員 吉井委員
- 4 欠席者 本田委員
- 5 傍聴者 1名（一般1名・報道0名／報道0社）
- 6 会議内容

（福本教育長）

それでは、教育委員会会議を始めます。

本日は、本田委員が所用のため、欠席されております。

本日は、議案4件、協議事項2件、報告事項1件です。まず、非公開事項についてお諮りいたします。議題のうち、教第27号議案については、教育委員会会議規則第10条第1項第2号により、職員の人事に関する事。教第24号議案、教第25号議案については、同項第3号により、長の作成する議会の議案に関する事。教第26号議案については、同項第4号により、社会教育委員及び法律又は条例に基づき設置する附属機関の委員の委嘱及び解嘱並びに任免に関する事。報告事項1については、同項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして非公開としたいと思いますが、御賛同いただけますでしょうか。

（賛同）

（福本教育長）

ありがとうございました。

それでは、議事に入ります。

## **協議事項20** 国際交流の取組について

（福本教育長）

協議事項20、国際交流の取組について、事務局より説明をお願いします。

（松浦国際教育担当課長）

英語教育推進の取組の一つ、国際交流について御報告させていただきます。コロナ禍が

明けまして、今年度ようやく国際交流を再開することができました。

まず一つ目、オーストラリア、ブリスベンとの中学生の派遣プログラムについてです。今年度はオーストラリアからの要望で、学校間同士での交流になりました。神戸市からは、英語教育の取組や交流計画、生徒の意欲等に鑑みて、太山寺中学校を選出しました。ブリスベンは、Earnshaw State Collegeといいまして、日本で言いますと、小学校から高等学校までの一貫した公立学校とっていただければ良いかと思えます。プログラムの内容ですが、今月1日金曜日から8日間訪問してきました。着いた日が土曜日でしたので、学校訪問は月曜日からになりましたが、授業に参加したり、学校生徒と交流したりしました。また、市内見学として、市庁舎を訪問したり、動物園の見学等に行ったりしました。ブリスベンとの交流がちょうど40周年ということもありまして、ブリスベンにあります日本総領事館を訪問させていただく貴重な経験を得ました。Earnshaw State校には多民族、多国籍のルーツを持つ生徒がいて、参加した生徒からは、お互いを尊重して意見の言い合いをしている姿こそが本当の国際理解だということを経験することができた。また、食事の面で大変苦労した生徒がいて、自分が食べたいものや食べられないものをはっきり伝える大切さや、これまで自分が過ごしていた日本での環境がいかにか恵まれているかということに気づいたというような声がありました。英語そのものについては、即興性が必要になることを痛感したということでした。幾ら日本で勉強したとはいえ、それは準備していたものであって、これからは即興性に応えられる英語の勉強を積みたいと聞いています。

一方、ブリスベンのEarnshaw State校からは、神戸に来月12日よりやって来ます。太山寺中学校を訪問し、太山寺中学校としては全校を挙げて歓迎のセレモニーを行いたい、また、国宝太山寺を訪問するツアーを計画していると聞いています。最終日、19日には神戸市長への表敬訪問も予定されておりまして、市長も対応いただけると聞いていますので、良い機会になることを願っています。太山寺中学校では今回の経験を校内で共有し、11月に神戸市全体で行いますイングリッシュフェスティバルで体験発表をすることで、神戸市全中学生に共有し、国際感覚の育成に取り組んでいく予定です。

次です。直接交流だけではなく、ALTが主体となって取り組んでいる国際交流があります。夏休みを中心にALTが様々な企画を考えて実施してくれています。二つ紹介させていただきます。

一つは、ALTalkといいまして、ALT数人がチームを組み、希望する学校を訪問し、そこでインタビューやゲームを行い、英語を通じた活動を行います。ALTalkの特徴の一つが、参加した生徒の英語力をALTが見取って、その力に合わせて導いていくという点になりますので、学校からの反応はとても良いものになっています。参加した生徒の声としては、英語が苦手だったが、ALTがしっかりと対応してくれたので少し自信がついたとか、これからはもっと英語を話す機会を見つけて発表していきたいというような声がありました。

もう一つ、ちょうど先週行われましたが、英語サマースクールといいまして、神戸市外国語大学をお借りして、2日間計約400名の中学生が参加する体験プログラムを実施して

います。写真にもありますように、外大そのものが異文化の空間になりまして、イングリッシュオンリーで子供たちが過ごします。1対1でALTと話をしたり、体を動かす活動を伴って英語を発したりということで、1日英語漬けになります。当初は不安そうな顔をしていた子供たちが、1日経つとすごく明るい表情で帰ってくるという素敵な企画になっていますので、これからも継続できればと思っています。

【参考】になります。ブリスベンは中学生との交流でしたが、高校生の直接交流も再開していきまして、10月に葺合高校の10名の生徒が、アメリカのフィラデルフィアを訪問する予定になっています。また、オンラインの交流も昨年度から積極的に取り組んでいきまして、台湾等を中心とした諸外国との交流を実施しています。

ALTですけれども、御存知のように全小・中・高等学校・特別支援学校に配置をしています。小学校では、全ての外国語の授業をALTと共同で行っています。また、学期中も前期、後期に分けまして、体験プログラムを行っています。ALTalkと同じように、ALTがチームを組んで各校を訪問し、自分の学校のALTだけではなく、様々な先生と子供たちが交流することで、英語を発する機会として位置付けたもので、多くの学校が取り組んでくれています。

また、今年度、校内の国際交流の活性化ということで、各校に予算を与えまして、空きスペース等を活用し、ALTと日本の先生方がアイデアを募って掲示物等を工夫することによって、子供たちが授業外でもALTの先生たちと英語で交流できる機会を設けています。

最後になりますが、One World プログラムと言いまして、小学校1年生、2年生も異文化の子供について学ぶ機会があります。One World プログラムに関しては、今年度は神戸大学の留学生が講師にたくさん手を挙げてくれましたので、良い活動が展開されるのではないかと期待しているところです。

(福本教育長)

国際交流について、再開されたものもありましたので、紹介をしていただきました。御質問等ございますか。

(今井委員)

すごく良い取組をしていただき、ありがたいと思いますが、ブリスベンとの交流やALTとの交流プログラムは全て希望制ということでよろしいですか。

(松浦国際教育担当課長)

はい。ブリスベンとの交流は、オーストラリアから学校間で取り組みたいということでしたので、昨年度その旨を周知し、8校ほどの学校が手を挙げていただき、そこから選定をしました。

(今井委員)

2 夏休みのALTとの交流プログラムも、全て希望する子供たちが参加して下さったという感じですか。

(松浦国際教育担当課長)

はい。

(今井委員)

参加生徒の声を見ますと、苦手けれども参加して下さったお子さんもいらっしゃるようで、ある程度しゃべることができる子だけが参加するということではなく、苦手な子も参加して下さっていることはすごく良いことだと思いました。

(松浦国際教育担当課長)

そうですね。ALT a l kはそこが狙いです。学校の先生方も見立てを立てて、少し参加してみないかと声をかけ、夏休みの期間を利用して挑戦してみようという生徒がいるというところが特徴になっています。

(今井委員)

すごく良い取組ですけど、どうしても人数の制限もあって、参加人数が限られてしまうと思います。更に言えば、後で紹介いただいた学校の中での取組も非常に重要だと思っています。予算をつけて校内の空きスペースを活用し、学校内で国際交流を活性化して下さっているということですが、英語科以外の先生方もそこに一緒に参加して下さっているのでしょうか。

(松浦国際教育担当課長)

学校によって異なります。ALTの先生方もその学校の職員の一人だという意識があると、学校全体が活性化しているところもありますので、先生方にもその辺りのことを積極的にお伝えしています。また、ALTの先生方も行事の手伝いをしましょうということも伝えていきます。

(正司委員)

ALTalkを実施した9校は立候補された学校なのか、教育委員会事務局が拠点校のような形で選んだ学校なのか、どちらでしょうか。

(松浦国際教育担当課長)

立候補です。7月23日と24日の2日間しかできなかったのも、数が限られています。そ

の中で積極的にやりたいという学校が手を挙げてきてくれました。

(正司委員)

訪問した子供たちの同窓会と言いますか、これから学年が上がっていても集うような場をつくることを心がけてもらおうと、より良いと思いますので、御検討いただければと思います。

(山下委員)

積極的な展開で、大変心強く感じました。ブリスベンとの交流プログラムについては、学校単位の交流が趣旨なので、学校で応募いただくという形になっているという理解でよろしいですか。

(松浦国際教育担当課長)

はい。

(山下委員)

そうすると、例えば先方からのホームステイ等も受け入れることが一定条件になっているのでしょうか。

(松浦国際教育担当課長)

はい。そこが実は一つ課題で、8名を希望していますが、学校によっては8名の受入れが難しいということで、なかなか手を挙げられなかった学校もありました。

(山下委員)

チャンスを広げていくという点では、学校単位だと組織間交流として取り組みやすく、教育効果も高くなるという一方で、意欲があるけれどもなかなか留学の機会が少ないような子供たちにも機会が広げられるように、両立する施策に今後なっていくと良いのではないかという気がいたしました。

(松浦国際教育担当課長)

御指摘のとおり、以前は全市から募っていましたが、今回は学校間ということで、これも一つ課題だと思いますので、考えていきたいと思います。

(山下委員)

引率や準備等、学校現場の負担も教育委員会事務局の負担も相当あるのではないかとはいえます。地域の国際交流系の市民団体の方に手伝っていただいたり、御支援いただいた

りということはありませんか。

(松浦国際教育担当課長)

今回のプログラムについてはありませんが、それも一つの方法だと考えています。

(山下委員)

ぜひ発展することを祈っています。

(福本教育長)

ほかに、よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

それでは、次の案件に参ります。

## **協議事項 8** コベカツについて

(福本教育長)

協議事項 8、コベカツについて、事務局より説明をお願いします。

(下條コベカツ推進担当部長)

1. コベカツクラブ第2次募集結果でございますけれども、6月26日から7月末まで募集をさせていただきまして、競技団体や地域団体、また保護者の皆様も様々工夫をいただき、約500件の申請をいただいております。これにつきましては、現在審査中でございますので、できるだけ早く公表できるように、整えていきたいと考えてございます。

2. 実証事業でございます。既に公表もさせていただいておりますけれども、実証事業を9月から順次開始したいと思っております。18クラブが対象となっております。

実証の目的でございますけれども、生徒・保護者へのコベカツのイメージの発信でございますとか、校区を越えた移動の検証、生徒の放課後の過ごし方の変化等の検証をしていくということでございます。今後、9月以降に開始する団体の状況も見ながら、来年度のコベカツ開始に向けて、課題の整理を行っていききたいと考えてございます。

(福本教育長)

なお、今後の方針に係る内容については、教育委員会会議規則第10条第1項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして、後ほど非公開の場で協議したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(賛同)

(福本教育長)

ありがとうございます。

では、今後の方針以外の部分について、御質問等ございますか。

まだ審査中ということですが、1次募集と合わせるとどれくらいの活動になりますか。

(下條コベカツ推進担当部長)

1次と合わせて、約1,000の活動が登録されている状況でございます。

(山下委員)

たくさんクラブに御協力いただいて、大変ありがたいと思っております。先行事業で実施される18のクラブですけれども、参加費用のばらつきについて分かることがあれば教えていただければと思います。ラグビークラブですと、おそらくかなり有名なところではないかと思っておりますが、そのほかにもバリエーションがあると思ひながら、費用負担の面が今後検証する一つのポイントになるのではないかと思いますので、教えていただければと思ひました。

(下條コベカツ推進担当部長)

参加費用につきましては、来年の9月になりますと、週何日という形で、もう少し回数が増えてくることとなりますが、今回は実証事業ということですので、おおよそ週1回程度の料金にさせていただくなど、できるだけ低廉に抑えていただくよう、工夫をいただいているところでございます。

(今井委員)

実証事業をしていただく10以上の団体は、実際に進めていく中で、悩みを相談・共有したり、良いことをお互いに紹介し合ったりするような機会はあるのでしょうか。

(下條コベカツ推進担当部長)

せっかく実証事業をいたしますので、運営をする中で出てきた課題等は団体間で共有する予定です。また、実証事業をしていない団体に向けても、今回の実証事業で得られたもののうち、共有した方が今後の団体運営に有効なものについては、共有していきたいと思っております。

(福本教育長)

ほかに、よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

公開案件は以上となります。

教育委員の皆さんから、教育委員会会議で取り上げるべき事項について御意見はございませんか。

それでは、本日の公開案件を終了いたします。

**閉会13時48分**